

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コモンチャイルドケア		
○保護者評価実施期間	R7年1月20日		～ R7年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	R7年1月20日		～ R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日替わりでプログラムを準備している。運動、学習、製作、感触遊び等たくさんの経験ができるよう考えている。毎月新しいプログラムを取り入れている。	保育園や幼稚園では経験できない小集団だからこそできるプログラムを取り入れている。 個別のプログラムでは一人ひとりのレベルに合わせたものを準備し、職員がそばについて一緒に取り組んでいる。	固定のプログラムは決まった形になってしまっているものもあるので、マンネリ化しないように工夫していく。 新しいプログラムを職員間で話し合い、子どもたちがより楽しめるものを準備する。
2	自由遊びの時間を長めに取っている。子どもたちが楽しめるものの中で、友達と一緒に遊ぶ喜びや楽しさ、コミュニケーション能力を伸ばしていけるようにしている。楽しいと思えることから成長を促している。	職員はそばにつき見守りながら、必要な場面で仲立ちするようにしている。トラブルになった際には、職員がお互いの気持ちを汲み取りながら解決できるように促している。	特定の児童と遊ぶ子が増えてきている。いろいろな友達と関わりを増やしていけるように職員が仲立ちしていく。
3	日々の関わりの中で子どもたちのことを理解し、保護者の思いも聞きながら個別支援計画を作成している。	個別支援計画を作成し、職員間で支援方法が統一化されるように共有している。	個別支援計画について送迎時の短い時間でしか説明できていなかったため保護者とも共通理解を深めるためにしっかりと説明をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が事業所に来る機会がなく、子どもたちが普段どのように過ごしているのかを直接見ることができない。	事業所で送迎を行っているため来ていただく機会がない。親子で参加できるようなプログラムを実施していない。	働かされていたり来所するのが難しい保護者もいるので配慮しながら、親子で参加できるようなプログラムを準備したり、事業所へ来所していただく機会を作る。
2	送迎時の短い時間でしか保護者と直接のやり取りができない。子どものその日の様子を伝えることしかできていない。	保護者に帰りの時間を伝えているため、ゆっくり話をする時間がなく伝達以外の話をするのが難しい。	今後は定期的に面談を行い、じっくりと保護者と話す時間を作り、保護者の悩みや相談を受ける機会を設ける。家族への支援にも力を入れていく。
3	それぞれの家族支援は行っているが、保護者同士の交流ができる場は設けていない。	定期的イベントは行っているが、子どもたちのみの参加にしている。平日のみの開所なので来所していただくのが難しい。	イベント等で保護者に来所していただき、保護者同士が交流できる機会を設ける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	コモンチャイルドケア					公表日	年 月 日	
					利用児童数	23人	回収数 20	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20				実際のスペースは分からないのですが子どもたちが満足しているので嬉しいです。	実際のスペースが分かるように保護者向けに活動の様子を写真で知らせるようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		2	どのくらいの特性の子がいつているのか分からないですが利用者に対して職員数は少ないように感じます。何人の先生方でやられているのかわからないので教えてほしいです。	職員人数は確保できている。新しく入った職員を紹介できていない時もあるのでその都度知らせていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			1	手洗いう洗いや片付ける場所のラベリングがされており、視覚的に分かりやすくなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1	実際に部屋に入ることがないので分からない。	今後、保護者の方に来ていただく機会を設けたい。部屋のスペースや空間が分かるよう写真で知らせるようにする。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1		2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	8	特に希望していません。利用する機会がなく不明。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1	1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	3	9	あったらいいなと思います。利用する機会がなく不明。	ペアレントトレーニングや研修会のお知らせ等があれば保護者の方に情報共有していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	7	3	1	面談等で実際に事業所で行っている支援を教えてもらったり相談ができればありがたいです。まだ通い始めて間もなく、分かりません。	現在は送迎時やLINEでのやり取りのみなので、今後は面談等を行い保護者の方との連携を密にとっていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	4	9	利用する機会がなく不明。	今後、保護者会やきょうだい向けのイベントを開催したい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1			迎え時利用時の様子を詳しく伝えてくれ様子が分かり助かっている。	引き続き子どもたちの様子がきちんと伝わるように送迎時にしっかりと伝えていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		2	コモンでの様子等をいつも詳しくお伝えしていただき助かります。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		8	体験するタイミングが無く不明。	訓練を行った際には知らせていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				休みの日もコモンに行けるかとワクワクしながら聞いてきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				いつも楽しみにしています。とても楽しみにしています。毎週の利用をとっても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				スタッフの皆さまによくしていただき大満足かつ大感謝しております。いつも本当にありがとうございます。本人の自信につながり、自発的な行動発言が見られ始めています。	これからも子どもたちが楽しく安心して過ごせる場所、たくさんの経験を重ねて自信をつけられるように関わってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	コモンチャイルドケア		公表日 年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日しっかりと清掃をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		クールダウンできるスペースがないのでクールダウンできるスペースがほしい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修に積極的に参加している。法人では月に1回研修があり、外部の講師を招くこともある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子どもの様子に合わせて支援プログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		それぞれの子どもたちに合った支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画作成後、職員間で確認し合い子どもたちの支援に生かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で話し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		たくさんの方の経験ができるように新しいプログラムを取り入れたり、子どもたちが興味を持って取り組めるものを取り入れている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日子どもたちの様子を記録に残し、子どもたちの成長を共有したり支援方法の見直しをしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回モニタリングを行い、新しい個別支援計画を立て直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議にはその子どものことをよく理解している職員が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		子どもたちが通っている保育園や幼稚園と連携して情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育園・幼稚園を通じて情報提供している。移行する放課後デイサービスへは情報共有している。	今後は直接のやり取りができるようにしていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターへ行き、密に連携を取りながらよりよい療育ができるようアドバイスをいただく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後実施していく予定。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の報告やLINE等で様子を伝えるようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後実施していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の意向は必ず取り入れるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		悩みごとの相談があった際は一緒に対応方法を考えるようにしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後実施していく予定。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		おたよりやブログ、インスタグラムで情報を発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		デイサービスの利用者との交流がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		マニュアルを作成し、対応できるようにしている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		保護者と情報を共有し、職員間で周知している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		定期的に研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○			